

●妙高市総合計画審議会の評価・意見への対応状況一覧表（R2実績評価）

（令和4年3月調査）

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	施策評価	審議会評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
1	総合計画	1-1	生活しやすい都市環境づくり【生活基盤】	建設課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①民間による住宅造成事業の支援とともに、新図書館の活用を見据えた誘導策により、居住や都市機能の適正な立地を図っていくこと。	2. 対応中	①引き続き、低廉で優良な宅地造成の促進に向けた支援を行うとともに、新図書館等の中心市街地へのアクセス性の向上を促進するため、都市計画道路の整備に向けて関係機関との調整を図る。
2	総合計画	1-1	生活しやすい都市環境づくり【生活基盤】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②交通弱者の生活利便性を維持しつつ、最新デジタル技術を活用するなど、持続可能な公共交通のあり方を検討すること。	1. 対応済み	②引き続き、地域の実情に即した効率性・利便性の高い運行を実施していく。また、令和3年度にデジタル技術（ＡＩ）を活用したシェア型デマンド交通導入係のアクションプランを策定した。令和4年度は本格運行に向け実証運行を実施する。
3	総合計画	1-1	生活しやすい都市環境づくり【生活基盤】	企画政策課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	③あらゆる分野でDXを推進し、スマート窓口等をはじめとした住民サービスや教育の質の向上を図るとともに、行政事務の効率化を進めること。	1. 対応済み	③デジタル技術を積極的に活用し、市民サービスの向上や業務の効率化を図るため、令和4年1月からスマート窓口システムを導入した。また、LINEによる情報発信やzoomを活用したオンライン会議、行政手続きのオンライン化など計画的に自治体DXを推進している。
4	総合計画	1-2	安全・安心な地域社会づくり【安全・安心】	総務課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①避難所運営訓練において確認された課題について、地域とともに解決策を見出すこと。また、コロナ禍においても自然災害に備え、個人・家庭での防災力を向上させるための取組を実施すること。	1. 対応済み	①避難所運営関係者（自主防災組織、防災士、施設管理者、市職員）合同による避難所運営研修を原則年1回実施し、課題の確認と対応策の協議を行った。また、コロナ禍において、自宅高層階への避難（在宅避難）や、親せき・知人宅への避難（縁故避難）が有効な避難方法に追加されたほか、令和3年5月には避難勧告が廃止され避難指示に一本化されるなど、避難に対する考え方が大きく変わったことから、全戸配布チラシや市報などにより周知するとともに、自主防災組織に対し地域単位の訓練の実施を働きかけた。
5	総合計画	1-2	安全・安心な地域社会づくり【安全・安心】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②鳥獣対策については、引き続き、住民・関係機関等と連携した活動や防災行政無線等による市民への注意喚起と情報提供の実施の他、適切な森林管理による緩衝帯整備など人的被害の防止に努めること。また、新たなデジタル技術の活用など先進事例の情報収集と実施隊員の捕獲技術の向上に努めるとともに、捕獲技術者の担い手確保に向けた支援を実施すること。	1. 対応済み	②（鳥獣対策）住民・関係機関等と連携した活動をはじめ防災行政無線等による市民への注意喚起や情報提供を実施した。引き続き、ＩＣＴわなセンサーの活用を図りながら、先進事例の研修会等を実施するなど専門員、実施隊員の捕獲技術の向上に努めるとともに、新規狩猟免許等取得者に対する支援を行い担い手確保を図る。
6	総合計画	1-2	安全・安心な地域社会づくり【安全・安心】	農林課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②鳥獣対策については、引き続き、住民・関係機関等と連携した活動や防災行政無線等による市民への注意喚起と情報提供の実施の他、適切な森林管理による緩衝帯整備など人的被害の防止に努めること。また、新たなデジタル技術の活用など先進事例の情報収集と実施隊員の捕獲技術の向上に努めるとともに、捕獲技術者の担い手確保に向けた支援を実施すること。	1. 対応済み	②（森林管理）については、森林経営管理制度を活用し、管理の行き届かない私有林人工林の整備を令和2年度から水上地区で進めており、順次、市内全域に取組を広げ、適切な森林整備を促進している。
7	総合計画	2-1	豊かな生活環境づくり【環境保全】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①持続可能な自然環境保全活動に向けて、引き続き入域料等による自主財源の確保を図っていくこと。	1. 対応済み	①入域料やクラウドファンディングについては、取組開始から数年が経過し、定着しつつある。引き続き、取組を継続・拡大していくとともに、令和4年度からは、新たな自主財源の確保に向けた取組を進め、環境保全活動の促進を図る。
8	総合計画	2-1	豊かな生活環境づくり【環境保全】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②2050年の温室効果ガス実質ゼロに向けた、ロードマップを示すとともに、多様な主体の実践に結び付く具体施策を盛り込んで実行計画を策定すること。	2. 対応中	②2050年の温室効果ガス実質ゼロに向けたロードマップと2030年までのアクションプランを示した実行計画を現在策定しており、令和4年度第1四半期に完了を見込んでいる。なお、円滑な再エネ導入のための促進区域設定等に向けたゾーニング等の合意形成を行い、令和4年度中に設定した促進区域等を本計画に追加する。
9	総合計画	2-1	豊かな生活環境づくり【環境保全】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	③家庭系・事業系可燃ごみの減量に向け、市民や事業者がイメージしやすい目標を設定する中で、分別意識の醸成を図りながら取り組めるよう啓発を行うこと。	1. 対応済み	③目標の設定については、市報やホームページ、地域でのごみ減量説明会等を通じて市の現状や削減目標等の周知を実施した。引き続き取組の浸透を図る。
10	総合計画	2-1	豊かな生活環境づくり【環境保全】	環境生活課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	④エコバックやマイボトルの運動や、市内団体との連携によるフードドライブを市内全域に広げていくこと。	1. 対応済み	④マイバックやマイボトルなどプラスチックの削減については、従来の市報等での周知の他に、公共施設に給水機を設置し、給水スポットの登録を行った。フードドライブについても、引き続き市報やホームページ、チラシの配布等による周知を図り、取組の拡大に努めていく。
11	総合計画	3-1	世界に誇れる観光地域づくり【交流促進】	観光商工課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①コロナ禍による影響でライフスタイルや価値観等が大きく変わる中で、安全・安心な観光地としての差別化を図り、妙高ツーリズムマネジメントと連携し、専門人材を活用したマーケティングの分析を一層進める中で「魅力的で選ばれる妙高」を作り上げていくこと。	1. 対応済み	①観光庁の実証事業の採択を受け、妙高ツーリズムマネジメントをはじめとする観光事業者、地域医療機関、市民、行政の全てのステークホルダーと連携し、安心・安全な観光地づくりに取り組んだ。また、コロナ禍で生まれた新たな観光需要の創出を目指し、感染症対策と経済活動の両立を図る「妙高モデル」を基盤に、魅力的で選ばれる観光地づくりに取り組んだ。
12	総合計画	3-1	世界に誇れる観光地域づくり【交流促進】	観光商工課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②国内・近隣圏内向けにテレワークなどを活用した誘客戦略にシフトしていくとともに、アフターコロナに向けてインバウンドの受入強化に取り組むこと。	1. 対応済み	②①に記載したように、コロナ禍で生まれた新たな観光需要であるワーケーションを一つの軸として、誘客に向けた実証に取り組んだ。また、コロナ禍で落ち込んだインバウンドの復活に向けて、インバウンド向けのプログラムや、感染症対策に係る多言語案内の整備、情報発信の強化に努めた。
13	総合計画	3-1	世界に誇れる観光地域づくり【交流促進】	観光商工課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	③妙高ツーリズムマネジメントの体制強化に取り組むとともに、観光需要の回復や近隣市町村との広域連携による地域経済への波及を図っていくこと。	1. 対応済み	③外部専門人材等の確保や、「稼げる観光まちづくり検討委員会」の運営により有識者から助言・指導をいただく中で、妙高ツーリズムマネジメントの体制強化に取り組んだ。また、近隣市町村との広域連携を図るとともに、域内の連携を促進したご当地グルメや特産品開発などにより、地域経済への波及と域内消費額の向上を図った。
14	総合計画	3-2	活力ある地域経済づくり【産業振興】	観光商工課	C:効果が あった	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①コロナ禍における地域経済の活性化のため、継続的な支援策を検討していくこと。	1. 対応済み	①R3年度は、地域内消費喚起策として「妙高ささエール商品券」「地域応援ギフト券」発行事業に加え、事業所向け支援策として「事業継続支援助成金」をはじめとする補助制度等を補正予算により対応した。今後も長期化する新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を注視しながら、効果的かつ継続的な支援策を検討していく。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	施策評価	審議会評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
15	総合計画	3-2	活力ある地域経済づくり【産業振興】	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②夢をかなえる企業応援補助金の活用などにより、市内での起業・創業のさらなる増加と空き店舗の有効活用や街なかの賑わい創出を図ること。	1. 対応済み	②R3年度の夢をかなえる企業応援補助金の交付決定18件のうち、新規創業は6件、空き店舗活用は14件となり、起業・創業の促進と空き店舗の解消につながった。引き続き、街なかの賑わいづくりや雇用の創出を図るため、新規創業や企業誘致等を促進していく。
16	総合計画	3-2	活力ある地域経済づくり【産業振興】	企画政策課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	③テレワーク、ワーケーションの普及を追い風として、市内に居住しながら首都圏等企業で働くワークスタイルの促進を図るとともに、市内コーディネーター組織が主体となって進める都市部の複業人材とのビジネスマッチングに取り組むほか、リモートワークを活用した都市部の外注業務を受注し雇用増に繋がるワークシェアリングの取り組みの支援を推進すること。	2. 対応中	③テレワーク、ワーケーションのためのワークスペースの整備をテレワーク研修交流施設をはじめとして進めているところであり、このような場所をオフィスとして活用し、市内で居住しながら都市部企業等で働くワークスタイルの促進を令和4年度以降、施設や関係団体と共に行う予定である。ビジネスマッチングについては、令和3年度に複業人材チームを組織し、市内企業への理解促進セミナーやヒアリングを行い、実際に企業と人材のマッチングも実現した。ワークシェアリングについては、ニーズ、実施方法やステークホルダーとなる企業の調査などを進めている。
17	総合計画	3-2	活力ある地域経済づくり【産業振興】	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	④全国的に米の消費量が減少する中で、引き続き、妙高市農業再生協議会を主体とした需要に応じた米作りを進めるとともに、農家の経営安定のため、主食用米からの作付転換を図り、農地利用の拡大に向けて取り組むこと。	1. 対応済み	④農家が自らの経営判断で作付計画が立てられるよう、米の需給情報や各種交付金等について周知を行った。また、補正予算で令和4年度産米において主食用米から非主食用米等への作付けを拡大する取組に対する補助制度を創設し、農家の経営安定に向けた対策を強化した。
18	総合計画	4-1	市民主体の健康づくり【健康・医療】	健康保険課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①地域における運動習慣の定着を図るため、引き続き関係機関と連携し、ウォーキングの普及拡大に取り組むこと。	1. 対応済み	①健康づくりリーダーと連携し地域でのウォーキング（運動習慣）の普及啓発を行うとともに、市内企業とも連携し市民一人ひとりの運動習慣の定着につながるよう啓発を行った。
19	総合計画	4-1	市民主体の健康づくり【健康・医療】	健康保険課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②検診会場での感染防止対策に万全を期すとともに、インターネット予約の導入など受診しやすい環境づくりにも努め、受診率の向上につなげること。	1. 対応済み	②手指消毒等の基本的な感染対策を継続するとともに、各健(検)診日に定員を設け、日時指定で実施することにより会場内の密集を回避して実施した。健(検)診日程において、インターネット予約に対応するとともに、前年度受診者には、年度当初に健(検)診日程をお知らせする案内を送付し、健診日の変更や検査項目の追加等をインターネットから行えるようにした。
20	総合計画	4-1	市民主体の健康づくり【健康・医療】	健康保険課	C:効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	③コロナ禍における市内のPCR検査体制を維持・強化していくとともに、けいなん総合病院、県立妙高病院、開業医が一体となった地域医療提供体制の維持・継続に向けた取組を強化していくこと。	1. 対応済み	③R2年度末のけいなん総合病院によるPCR検査機器の整備へ支援し、即日結果判明が可能な体制を市内に確立した。また、診療所開設支援補助制度を通じて開業医の誘致が実現した。引き続き、市健康づくり推進協議会専門部会（医療機関）を通じて、市内医療機関相互の意思疎通や連携強化を図るとともに、地域医療体制の確保に努めていく。
21	総合計画	4-2	全てを支える地域福祉づくり【福祉介護】	福祉介護課	C:効果があつた	Ⅲ:継続 (現状維持)	①高齢者が自身で介護予防活動を振り返り、実践に繋がる取組を促すとともに、地域で住民や事業者等が支えていく仕組みづくりを進めていくこと。	1. 対応済み	①基本チェックリストを活用した郵送調査やロコモ健診を実施し、介護予防活動への取り組みを促すとともに、ハイリスク者は、訪問指導等を行い筋力向上型通所サービスへつなげる取り組みを行った。また、NPO法人や自治会と話し合いを重ね、地域住民が主体的に支えあい・助け合う仕組みづくりを進めている。
22	総合計画	4-2	全てを支える地域福祉づくり【福祉介護】	福祉介護課	C:効果があつた	Ⅲ:継続 (現状維持)	②親亡き後でも障がい者が地域の一員として安心して自分らしい生活が送ることができるよう、就労支援の強化を図るとともに、緊急時の相談や受入を充実させ、関係機関と連携した包括的な支援体制を維持すること。	1. 対応済み	②農福連携に向けた新たな取組や市業務の就労支援施設への発注を通じて、障がい者就労支援施設の工賃向上に取り組んだ。また、常時対応可能な相談体制や緊急時の短期入所利用などの支援体制づくりを進めている。
23	総合計画	4-2	全てを支える地域福祉づくり【福祉介護】	福祉介護課	C:効果があつた	Ⅲ:継続 (現状維持)	③引き続き生活困窮者の個々の実情に応じた支援を行いながら、自立に繋げていくこと。	1. 対応済み	③相談者の悩みに寄り添いながら、個々の状況に応じた支援を継続するとともに、住居確保給付金の活用や社協が行う緊急小口資金・総合支援資金の斡旋なども行い、経済的自立に繋げていく。
24	総合計画	4-3	住民主体の地域づくり【地域づくり】	地域共生課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	①地域運営組織の設立・運営をサポートするとともに、地域づくりリーダーの発掘を進め、地域の実情にあった主体的な課題解決へ繋げていくこと。	2. 対応中	①地域運営組織の設立・運営のサポートとして、地区担当職員を派遣し、地域課題の共有、話し合い、将来ビジョンづくりなどの事務サポートを実施していく。 地域づくりリーダーの発掘について、リーダーとなる人材とそれに協力する人材を育成するため、現場に入り直接地域課題に向き合い解決策を導き出すなど、長期的な実践研修を行う。
25	総合計画	4-3	住民主体の地域づくり【地域づくり】	地域共生課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善 (事業内容の見直し)	②ウィズコロナ時代に対応しながら、ICTを活用した移住定住施策の情報発信を強化していくこと。	1. 対応済み	②コロナ禍における、移住定住施策の取組として、移住定住専用ホームページ「妙高ぐらし」による情報発信のほか、市の公式LINEにおいて、移住希望者向けのチャットボットを開発し、必要な情報へアクセスしやすい環境を整えた。また、移住専門誌TURNSのWeb広告では、妙高市への先輩移住者の暮らしぶりの紹介など情報発信に努めた。R4年度には、地域支援員を増員し、情報発信の更なる強化を図っていく。
26	総合計画	4-4	全ての人が平等な地域社会づくり【人権】	市民税務課	C:効果があつた	Ⅲ:継続 (現状維持)	①インターネット上の人権侵害や新型コロナウイルス感染症に関係した誹謗中傷など新たな課題の発生も懸念されていることから、情報収集等を進め適切な対応に繋げること。また、SDGsの誰一人取り残さない世界の実現に向けては、すべての人々の人権を実現することが求められていることから、市民への理解を深めるため、効果的な啓発に取り組むこと。	1. 対応済み	①ネットパトロールを令和3年7月から毎週実施（以前は月に2～3回）し、監視を強化するとともに、昨年度よりコロナ感染者および濃厚接触者への差別防止を呼び掛ける掲示物を、本庁両支所窓口に掲示した。また、市内で感染者が判明した際の周知に合わせ、毎回全市民に向け、差別防止の呼び掛けを行った。
27	総合計画	5-1	安心して子どもを育てられる環境づくり【子育て】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続 (現状維持)	①子育て不安と負担の軽減、仕事と子育ての両立のための方策の充実を図っていくこと。	1. 対応済み	①仕事と子育ての両立を図るために、ファミリー・サポート・センター事業や放課後児童クラブの充実を図った。また、病後児保育事業について、対象を病後児だけでなく病児も預かれるよう環境整備を行うことで、保護者の就労支援を拡充した。また、利用料の負担を軽減するため、各種減免制度を整えている。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	施策評価	審議会評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
28	総合計画	5-1	安心して子どもを育てられる環境づくり【子育て】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続(現状維持)	②コロナ禍においても保護者とのコミュニケーションの充実と園運営への理解の促進を図るため、ICT化を推進すること。	1. 対応済み	②遠隔地からの転入等により入園する保護者を対象としてZOOMによるオンライン面接を実施するなど、ICT化の推進を図っている。
29	総合計画	5-1	安心して子どもを育てられる環境づくり【子育て】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続(現状維持)	③虐待に関する保護者支援の強化、要保護児童などへの適切な支援や相談体制について、引き続き関係機関と連携して強化を図ること。また、虐待に対する支援方法等について情報発信を行う中で、市民の理解を高めていくこと。	1. 対応済み	③虐待リスクやその家庭の状況に応じた頻度や方法（面談・訪問等）で紹介している。また、保護者等の相談内容により、臨床心理士や家庭児童支援専門員、保健師等からの相談対応を行っている他、児童相談所や警察、教育機関等とも連携しながら支援している。また、市民の虐待予防への理解や意識を高めるため、民生委員等への協力依頼等を行ったり、児童虐待防止推進月間である11月に市報で特集を組んでいる。
30	総合計画	5-2	質の高い教育環境づくり【教育】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続(現状維持)	①いじめや保護者とのトラブルに適切に対応するため、引き続きスクールロイヤーとの連携によりいじめ防止に対する意識を高めること。また、不登校児童生徒の発生防止、早期発見と解消に向けた支援を継続すること。	1. 対応済み	①市のスクールロイヤーを活用したいじめ防止対策として、令和2年度、3年度は小中学校でいじめ防止講演会を実施し、児童生徒は講演を聴いて話し合い、いじめ防止に対する自らの考えを深めることができた。令和4年度は、教職員向けのいじめ防止の指導方法等を学ぶ研修会の開催を予定している。不登校対策は、学校やスクールソーシャルワーカー、子ども・若者支援専門員等と連携し、早期発見、解消に向けた支援を継続して実施する。
31	総合計画	5-2	質の高い教育環境づくり【教育】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続(現状維持)	②GIGAスクール構想に基づく1人1台のタブレット端末により、コロナ禍におけるリモート授業を推進し、プログラミング教育をはじめとしたICT活用授業による学習効果を高めていくとともに、不登校の子ども達に対する対応策としても有効活用を図ること。	1. 対応済み	②令和3年度は、コロナ禍における臨時休校時等において、健康観察や朝の学級活動、課題の提示等をリモートで実施した。今後、更なるリモート授業を推進するために、課題を整理し環境整備等を検討する。小学校では、プログラミング教育ベーシックプランを実施している。今後、ICT活用の学習効果を高めるために、児童生徒が探究や協働の学びの道具としてICTを活用できるようにする。不登校児童生徒のニーズに応じた授業配信を今後も継続して実施する。
32	総合計画	5-2	質の高い教育環境づくり【教育】	こども教育課	C:効果があつた	Ⅲ:継続(現状維持)	③ALTによる園や学校での英語教育を推進するため、姉妹都市などとのオンライン交流等を積極的進める中で英語学習のモチベーションを高めていくこと。	1. 対応済み	③令和3年度、台湾の児童とポストカードの交換（新井小、新井南小）、オンライン交流（新井南小）を実施した。姉妹都市（ツエルマット）とのオンライン交流について、令和4年度の実施に向け実施方法等検討していく。
33	総合計画	5-3	豊かな心身をつくる環境づくり【生涯学習・スポーツ】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①オンライン講座などコロナ禍であっても学べるしくみづくりに取り組むこと。また、人づくり、地域づくりに繋がる学習活動を充実するとともに、地域活動人材制度の活用促進を図っていくこと。	1. 対応済み	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、集合講座が中止となる中、新たな手法としてオンライン講座を実施した。また、SDGsなど地域の課題解決や人づくりにつながる内容を学習テーマとし、受講者に対しては地域活動人材制度への登録や身近な地域活動での実践を促している。
34	総合計画	5-3	豊かな心身をつくる環境づくり【生涯学習・スポーツ】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②学校部活動などの地域移行に向け、ジュニアスポーツクラブの指導者の確保や指導体制の確立に取り組み、競技力の向上と裾野の拡大を図ること。	2. 対応中	②令和3年度に休日の学校運動部活動の地域移行に向けた実践研究により、課題の拾い出し等を実施するとともに、指導体制の現状把握調査を実施した。その結果、競技種目により指導者資格の保有状況や指導者のスキルに差異があり、経験と競技知識中心の指導となっている現状が多く見受けられたため、指導者の資質を満たした人材の育成と、指導体制の構築・強化に取り組んでいる。
35	総合計画	5-3	豊かな心身をつくる環境づくり【生涯学習・スポーツ】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	③安全で快適なスポーツ環境の整備を図るため、施設の改修計画の見直しと財源確保策を検討していくこと。	1. 対応済み	③体育施設について、優先順位付けを行う中で随時改修計画の見直しを行うとともに、国等の補助金・交付金やスポーツ振興くじ助成金などを活用し、財源確保を図り、改修工事に取り組んでいる。
36	総合計画	5-3	豊かな心身をつくる環境づくり【生涯学習・スポーツ】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	④子どもの読書活動の推進やICT化への対応など、市民ニーズも多様化しており、ウィズコロナ、アフターコロナも見据えた中で、電子図書など先進的な技術を取り入れながら図書館の利便性向上を図っていくこと。	2. 対応中	④新図書館等複合施設の整備に合わせて、電子書籍の導入や図書自動貸出機の設置など、先進的なICT技術を活用した図書館サービスの充実と利便性向上を計画している。
37	総合計画	5-4	郷土愛を育む文化のまちづくり【文化】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①妙高の特徴的な歴史文化資源の磨き上げと顕在化を図るため、地元での推進体制づくりを進めるとともに、様々な地域資源と結びつけながら魅力発信を行い、ツーリズムの振興を図ること。	1. 対応済み	①関川地区と関山地区で策定した「歴史文化保存活用計画」に基づき、地元主体の事業を展開し、関所の新たな見どころとなる関所抜けの道を整備するとともに、文化財PRパネルを設置して関山神社のガイダンス機能の強化を図った。今後は、7年に1度の善光寺御開帳に合わせて、地元関山神社での善光寺仏・秘仏の特別公開や関所での善光寺特別展を計画している。また、斐太地区でも保存活用計画策定に向けた地元との協議を進めていく。
38	総合計画	5-4	郷土愛を育む文化のまちづくり【文化】	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの事業が中止となり、活動や成果発表の場が減少し、芸術文化団体の活動意欲も低下してきている。可能な限り芸術鑑賞機会や活動成果発表の場の提供に努め、コロナ禍の収束も見据えた中で、ICTを用いた芸術文化活動の活性化を促進されること。	1. 対応済み	②コロナ禍ではあったが、可能な限り実物作品の鑑賞機会を提供できるよう、感染予防対策を徹底して、市民の芸術活動の成果発表の場である妙高芸術祭（市展・ジュニア芸術展）を開催した。また、財団の各種自主事業においては、一部オンラインにより開催され、コロナ禍での参加機会の確保に取り組んでいる。